

2024 年度選手権競技

クラブ選手権：2024 年 9 月 29 日(日)18H・10 月 6 日(日)27H・10 月 14 日(月・祝)27H

シニア選手権：2024 年 9 月 29 日(日)18H・10 月 6 日(日)18H・10 月 14 日(月・祝)18H

グランドシニア・レディス選手権：2024 年 9 月 29 日(日)18H・10 月 6 日(日)18H・10 月 14 日(月・祝)18H

会 場：白杵カントリークラブ

本競技は、(公財)日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則(2023 年 1 月施行)と、このローカルルールと競技の条件を適用する。これらの追加・変更については各競技に適用される競技規定やプレーヤーへの注意事項を確認のこと。下記に参照するローカルルールの全文については 2023 年 1 月発行の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」、及び JGA ホームページ掲載の「2023 年ゴルフ規則の詳説」を参照すること。

別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰（ストロークプレーでは 2 罰打）。

ローカルルール

1.アウトオブバウンズ（規則 2）

アウトオブバウンズは白杭または白線で定める（定義「アウトオブバウンズ」参照）。

2.ペナルティーエリア（規則 17）

(a) ペナルティーエリアの縁が片側だけ定められている場合、そのペナルティーエリアは無限に広がっているものとみなす。

(b) ペナルティーエリアの縁の一部がアウトオブバウンズの境界線で定められている場合、そのペナルティーエリアの縁はアウトオブバウンズの境界線と一致する。

注：ペナルティーエリアのための指定ドロップ区域：

ペナルティーエリアに指定ドロップ区域が設置されている場合、プレーヤーは規則 17 に基づいて処置をするか、あるいは 1 打の罰のもとにそのペナルティーエリアの縁を最後に横切った地点に最も近い指定ドロップ区域に球をドロップすることができる。指定ドロップ区域は救済エリアであり、ドロップされた球はその救済エリアに止まらなければならない。

3.異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則 16）

(a) 修理地

(1) 修理地は白線と青杭で標示する（定義「修理地」参照）。

(2) 張芝の継ぎ目：ローカルルールひな型 F-7 を適用する。

(3) パッティンググリーンの前後のペイントマークと、ジェネラルエリアの芝草を短く刈ってある区域にあるヤーデージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合（スタンスの障害は除く）、規則 16.1 に基づく救済を受けることができる。

(b) 動かさない障害物

(1) 場内整理用の縄張り施設は障害物とみなす。

(2) 排水溝は動かさない障害物とみなす。

(3) 動かさない障害物に接している他の動かさない障害物は一体の動かさない障害物とみなす。

(4) 動かさない障害物に白線で繋がれた区域はその障害物の一部とみなす。

(5) 動かさない障害物によって囲まれた造園区域（花壇、低木の植え込みなど）はその障害物の一部とみなす。

(c) 地面にくい込んでいる球

規則 16.3 は次のように修正される。バンカーの上方の積み芝の面にくい込んだ球について罰なしの救済は認められない。

4.コースと不可分の部分

(a) 巻物、ワイヤ、ケーブル等で樹木に密着している部分

(b) ペナルティーエリア内にある護岸用の構築物

5.恒久的な高架の送電線

ローカルルールひな型 E-11 を適用し、次のように修正する。：プレーヤーの球がインバウンズの送電線に当たったことが分かっているか、事実上確実な場合、そのストロークはカウントしない。そのプレーヤーは規則 14.6 にしたがって直前のストロークを行った場所から罰なしに球をプレーしなければならない。

例外：高架線の鉄塔や支柱に球が当たった場合には適用しない。

6.臨時の動力線とケーブル

ローカルルールひな型 F-22 を適用する。

7.臨時の動かさない障害物

ローカルルールひな型 F-23 を適用する。

8.クラブと球

(a) 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型 G-1 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

(b) 溝とパンチマークの規格：ローカルルールひな型 G-2 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

(c) 公認球リスト：ローカルルールひな型 G-3 を適用する。

このローカルルールの違反の罰：失格

9.プレーの中断（規則 7）

プレーの中断及び再開の通報は以下の通り。

プレーの即時中断：1回の長いサイレン

プレーの中断：連続する3回のサイレン（繰り返し）

プレーの再開：2回のサイレン

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

10.ホールとホール間の練習（規則 5b）

ローカルルールひな型 I-2 を適用する。

11.距離計測器（規則 4.3a）

規則 4.3a を適用する。

12.移動

ラウンド中プレーヤーは動力付きの移動機器に乗車しての移動を認める。

競技の条件

13.参加資格

- ・クラブ選手権の部は、NEW J-sys HDCP14.4 以下の者。
- ・シニア選手権の部は、年内に満 60 歳以上になる者。
- ・グランドシニア・レディス選手権の部は、年内に満 70 歳以上になる者または女性。

注：各部門ともに、正会員入会后 6 ヶ月を経過しないと出場できない。

14.競技方法

- ・クラブ選手権の部は、予選 18 ホール・ストロークプレー、決勝 1 日目：27 ホール・ストロークプレー、決勝 2 日目：27 ホール・ストロークプレーの通算 72 ホールで行う。
- ・シニア選手権の部は、予選 18 ホール・ストロークプレー、決勝 1 日目：18 ホール・ストロークプレー、決勝 2 日目：18 ホール・ストロークプレーの通算 54 ホールで行う。
- ・グランドシニア・レディス選手権の部は、予選 18 ホール・ストロークプレーを 2 日間、決勝 1 日目：18 ホール・ストロークプレー、決勝 2 日目：18 ホール・ストロークプレーの通算 54 ホールで行う。

注：決勝進出の最終人数については競技参加者の人数により競技委員会で決定する

15.使用ティー

- ・クラブ選手権の部は、予選・決勝ともに黒マークを使用する。
- ・シニア選手権の部は、予選・決勝ともに青マークを使用する。
- ・グランドシニア・レディス選手権の部は、予選・決勝ともに白マークを使用する。

16.プレーイング 4・黄杭の取り扱い

(a)ティーイングエリアからアウトオブバウンズになった場合は、1 打罰の付加にて打ち直しを行うものとする。（プレーイング 4 は使用しない）

(b)3 番ホールの黄杭（ワンペナ杭）は使用せず、あるがままの状態プレーを行うものとする。

注：プレーイング 4 ティーマーク・黄杭は動かせる障害物とする。

17.順位の決定

予選はマッチングスコアカード方式にて決定する。

各部門ともに決勝終了時点で、最小打数の者が 2 人以上の場合は、あらかじめ競技委員会が定めたホールにて、サドンデス方式によるプレーオフを行う。それ以外の者は、マッチングスコアカード方式にて決定する。

18.スコアカードの提出

スコアカードの提出はスコアリングエリア方式を採用する。

19.競技終了時点

本選競技では競技委員長の作成した順位表が掲示された時点をもって競技は終了したものとみなす。

注意事項

20.ローカルルールの追加、変更

ローカルルールや競技の条件に追加や変更があるときは、スターティングホール付近に掲示して告示する。

21.練習

練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は 40 球に制限する。

22.参加の取り消し

委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。

23.行動規範

プレーヤーにエチケット違反、また重大な非行があった場合には規則 1.2 に基づいて失格とする場合がある。

ローカルルールと競技の条件に次のことを追加する

※動物によって生じた損傷の区域

ジェネラルエリアでは、動物によって生じた損傷の区域は規則 16.1b に基づき救済が認められる修理地として扱われる。しかし、その損傷がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。